

特別区児童相談所実務者研修会

DVへの理解と対応のポイント

～面前DV目撃による心理的虐待ケースへの対応のヒント

現在、児童相談所やこども家庭センターでは、面前DV目撃による心理的虐待通告への対応件数の割合が大きくなっています。しかし保護者面接が指導警告に留まり、再通告も多くなっているのではないのでしょうか。面前DV目撃による心理的虐待通告は、傷つく子どもへの配慮のみならず、DV関係の可能性がある親への対応が重要で、支配的関係性に対する理解が欠かせません。

本研修では、DV被害者支援のための面接ツールの作成者である日本福祉大学社会福祉学部の増井香名子准教授をお招きして、「DVへの理解と対応のポイント」についてご講義いただくとともに、区での対応や課題、工夫している点を持ち寄り、グループ討議を行います。情報交換と新たな気づきが得られる研修となるよう、多くの区からのご参加をお待ちしております！

日 程

令和8年 **2月13日** (金) 13:30～17:00

場 所

特別区職員研修所(東京区政会館別館)(千代田区九段北1-1-4)

対 象

児童相談所、こども家庭センター等の職員、その他子ども家庭福祉行政に携わる職員【定員58名】

ねらい

児童相談所運営を含む児童相談所設置市としての業務やこども家庭センター等の事例と課題を出し合い、解決策を検討する。各区の様々な経験や成果を共有することにより、各区業務のレベルアップと職員の専門性の向上を図る。



カリキュラム

「DVへの理解と対応のポイント」

《講師》増井 香名子 氏（日本福祉大学社会福祉学部准教授）

大阪府立大学大学院人間社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程修了。社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師。大阪府の社会福祉職等を経て2021年より現職。DV被害者と子どもの支援実践研究会（FaV-RIC研究会）共同代表。『DVから子どもの安全を守る―母親非難をやめ、父親の行動に目を向ける Safe & Together モデル入門』（2025年、明石書店：翻訳書）、『DVと子ども虐待のソーシャルワーク実践を変える視点と方法』（2024年、日本評論社）ほか著書多数。

★研修生には、DV被害者支援のための面接ツール「あなたへのメッセージ」を配付し、ロールプレイを交えて学んでいきます。

【問合せ先】 特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係
小原(おばら) (TEL:03-6261-1559)

